



北里大学同窓会栃木県支部
ニュース 北里大学同窓会報告
2012年8月1日発行

定期総会、無事に終了

支部長 滝 龍雄

北里大学同窓会 栃木県支部 定期総会

同窓会本部・東支部担当理事のご臨席の元、出席者、委任状により総会の成立を確認後、田村明美さんを議長に選任し、総会を行った。



(定例総会の風景)

活動報告：支部長より2年間の支部の活動報告があった。

(2010年7月5日～2012年6月30日)

2010年

- 7月 4日 総会：新支部長、新運営委員選出
- 8月 28日 第1回運営委員会
- 10月 2日 第2回運営委員会

2011年

- 1月 1日 支部会ニュースNo5 発行
- 1月 29日 第3回運営委員会
- 5月 1日 支部会ニュースNo6 発行
- 6月 12日 第4回運営委員会
- 7月 10日 支部講演会（於ニューイタヤホテル）
萬田富治北里大学客員教授（出席者 32名）
- 10月 1日 第5回運営委員会
- 10月 29日 北里大学同窓会支部長会
- 11月 5日 第6回運営委員会
- 12月 15日 支部会ニュースNo7 発行

2012年

- 1月 9日 新年会打ち合わせ
- 2月 18日 新年会（参加者 18名）
- 3月 17日 第7回運営委員会
- 4月 12日 第8回運営委員会
- 4月 28日 第9回運営委員会
- 5月 1日 支部会ニュースNo8 発行
- 6月 16日 第10回運営委員会
- 6月 30日 定期総会・公開講演会・懇親会
審議の結果、満場一致で承認された。

会計・会計監査報告：塚原事務局長より会計報告があり、その後、和貝委員より会計監査報告があった。

平成23年度会計報告書

(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

《収入の部》

単位：円

項 目	金 額	備 考
前年度繰越金	999,203	
同窓会補助	945,000	講演会、通信費
懇親会費	100,000	参加者 20名
新年会費	90,000	参加者 18名
預金利子	122	
合 計	2,134,325	

《支出の部》

単位：円

項 目	金 額	備 考
講演会講師謝礼	100,000	2回
講師交通費	100,000	
講演会諸経費	14,441	2011年7月
懇親会費・諸経費	195,102	飲食代含む
支部ニュース等	202,694	1月、5月
はがき代	55,000	
講演会ポスター	30,000	
新年会費用	100,380	
次年度繰越金	1,336,708	
合計	2,134,325	

平成 24 年 6 月 30 日

上記の通り報告いたします。

会 計 塚 原 訓 子



平成 24 年 6 月 30 日

上記監査の結果適正であることを認めます。

会計監査 和 貝 和 子



審議の結果、満場一致で承認された。

新役員を選出：支部長より、次期運営委員の推薦があり、
審議の結果、全会一致で承認された。

新運営委員

滝 龍雄 (支部長)

岸 善明 (副支部長) 福田 容子 (副支部長)

磯 恵美子 新島 健司 鈴木 一夫 山口 正利

石川 信一 福田 哲夫 芝田 周平 吉澤 浩子

齋藤けさよ 戸田 麻子 山内 久恵 天谷 仁一

長谷川恵美子 飯野 望 中野 友裕 中野 睦月

千野根純子

塚原 訓子 (事務局) 田村久美子 (事務局)

篠崎 和実 (事務局) 廣瀬 英俊 (事務局)

松本 典子 (事務局) 川又 圭太 (事務局)

和貝 和子 (会計監査) 富永 英夫 (会計監査)

次期活動計画：新支部長より活動計画案が提案され、審
議の結果、全会一致で承認された。

次期活動計画案 (2012 年 7 月～2014 年 6 月)

2012 年 12 月 支部会ニュース No.9 発行

2013 年 2 月 新年会

2013 年 5 月 支部会ニュース No.10 発行

2013 年 7 月 支部講演会・懇親会

2013 年 12 月 支部会ニュース No.11 発行

2014 年 2 月 新年会

2014 年 5 月 支部会ニュース No.12 発行

2014 年 7 月 定期総会・支部講演会・懇親会

他に、随時必要な企画を計画する。

次期予算案 (2012 年 7 月～2014 年 7 月)

新支部長より、次期予算案の提案があった。

《収入の部》

単位：円

項 目	金 額	備 考
前年度繰越金	1,336,708	
講演会補助	500,000	北里大学同窓会
通信費補助	300,000	北里大学同窓会
総会援助金	200,000	北里大学同窓会
懇親会参加費	200,000	参加者 20 名 x 2 回
新年会参加費	200,000	参加者 20 名 x 2 回
預金利子	200	
合 計	2,736,908	

《支出の部》

単位：円

項 目	金 額	備 考
講演会開催費	500,000	
総会開催費	200,000	
支部ニュース他	400,000	計 4 回
講演会ポスター	30,000	
懇親会費	200,000	2 回
新年会費・景品代	220,000	2 回
事務費	100,000	
予備費	1,086,908	
合計	2,736,908	

審議の結果、満場一致で承認された。

以上で定期総会を終了した。

新運営委員よりのご挨拶

3 度目の支部長として

滝 龍雄

この度、3 度目の栃木県支部運営委員、支部長に選んで頂きました。北里大学医療衛生学部微生物学研究室の滝です。過去 4 年間、岸・福田両副支部長始め多くの運営委員、支部会事務局、会員の方々、更には北里大学同窓会の多大なご支援、ご協力を得て、何とか活動を継続することが出来ました。

活動再開の象徴として、4 年前には広く県民の皆様には北里大学の存在を知ってもらおうと、養老孟司先生の公開講演会を開催しました。多忙な養老先生の講演会ということで中々開催日が決まらず、決まってから開催まで 2 ヶ月ということで大わらわで手分けして会場選定の交渉、下野新聞社等マスコミへの後援のお願い、一般県民の方への広報と申込受付、プログラム作成と、短期間に集中し、更には講演会当日の人員確保や役割分担など、今思うと、何と身の程知らずの企画を行ったものかと感慨深いものがあります。でも、この講演会を何とか開催できたことでその後に開催した講演会の準備の基礎が出来たものと思います。

今期も、多くの皆様のご協力を得て、講演会や新年会の開催、支部会ニュースの発行を通して支部会員の皆様との絆を深めて行きたいと思っています。

支部の活動を益々活性化していくためには、財政的にもしっかりしたものになければなりません。現在、支部会費は集めておりませんが、幸いにも、同窓会本部より様々なご協力を得ることが出来ます。支部通信費の援助や講演会等支部活動費の助成もあります。支部の活動を活発にすることで、本部の協力も受けやすくなります。

再来年の 3 月一杯で大学の方も定年になり、支部長も任期も再来年の 6 月一杯です。今期が支部長としても最後のご奉公と思います。若い運営委員の皆様も増えてきていますので、素晴らしい後継になってくれるものと期

待しています。

栃木県支部会員の皆様、運営委員の皆様、今期も皆様に参加して頂ける企画を実施して行くつもりですのでご協力、ご参加をお願い致します。

自己紹介

芝田周平

私は、大学時代に滝支部長のワンダーフォーゲル部の後輩で、そんな関係から支部長に運営委員参加の誘いを受け、少しでも役に立てればと運営委員を引き受け、早いもので3期目になります。

仕事は、県職員で、職種は獣医師（12V）です。県内数カ所の職場を渡り歩いて30年になります。現在は農政部の県中央畜保健衛生所に勤務しています。主な仕事内容は、牛豚鶏等の家畜伝染性疾患の発生予防とまん延防止です。具体的には、24ヶ月以上の死亡牛のBSE検査、最近日本でも発生があった口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等の防疫対応、県内生産牛肉の放射性物質（セシウム）検査、死亡畜や原因不明疾患の病性鑑定等の仕事を行っています。これらに関して質問などあれば連絡下さい。

私の出身学部は青森県十和田市の獣医学部（＝旧獣医畜産学部）ですから、獣医学部同窓会の紅緑会（こうりよくかい）にも加盟しています。運営委員にも数名紅緑会会員がいますので協力して、今まで以上に紅緑会との連絡を密にし、北里大学同窓会栃木県支部への積極的参加を呼びかけて行きたいと思えます。

どうぞよろしくお願ひします。

新運営員に就任して

中野知裕

この度、ご縁がありまして北里大学同窓会栃木県支部の運営委員をさせていただくことになりました薬学部卒の中野です。

私が北里大学に入学したのは今から17年前のことでした。その当時は大学病院が現在のように拡張されておらず、教養棟で講義を受け、教養棟の前はグラウンドでした。相模大野の駅も現在のような駅ビルもなく、再開発が始まったばかりの頃でした。

あれから17年がたち、相模原キャンパスも大きく様変わりしたと聞きます。また、自分が学生生活の大半を過ごした白金キャンパスも、現在では10階建ての建物に変わった北里研究所病院とともに当時と大きく様変わりをしました。

そんな大きく様変わりをした母校ではありますが、こうしてご縁があり、同窓生の方々と支部会の活動に携われることを光栄に感じております。微力ではありますが、会の運営に少しでもお役に立てるよう尽力したいと思っておりますので、何卒よろしくお願ひいたします。

新委員に就任して

中野睦月

はじめまして。私は'94年度薬学部を卒業し、これまで薬剤師一筋で現在宇都宮市在住、矢板市の調剤薬局に勤務しております。

矢板市に生まれ育ち、人並みに都会に憧れていた私は、自宅から通える大学を一つも受験しませんでした。ところが第一志望だった某国立大学理学部に不合格。合格通知が来ていた私大の中から、仕方なく北里大学を選んで入学しました（すみません）。当時、薬学部が主に薬剤師という国家資格を得るための学部であるということを知りませんでした。それどころか、薬剤師という職業を大学に入るまで知らなかったのです！

入学当初は、志望大学へ行けなかったことへの挫折感と、標準語だと思って話していた私のイントネーションが栃木特有のものだと指摘されたことへのコンプレックスとで、全く学内生活に馴染めない日々が続き、たちまち勉強にもついていけなくなりました。相模原での教養課程が終わり、2年目から白金キャンパスに通学するようになると、毎朝の通勤ラッシュにノイローゼ気味になり、電車に乗ることが怖くなって講義も休みがちになりました。何事にも意欲が持てず、4年生の10月まで就職活動もせずにはいましたが、なんとなく相模原にある病院の面接を受けてみたところ、なぜかその場で採用が決まり、もう何が何でも国家試験をパスしなければならなくなりました。それなのに、国試目前になってA型肝炎に罹って勉強もままならず、本当に卒業直前までなにかと苦労しました。

つまり、私は北里で過ごした4年間を全く楽しめないまま終えることになってしまいました。憧れていた都会での学生生活だったのに…

しかし、私たちの卒業年は、バブルがはじけて2年目。そう、就職難が始まっていました。私は薬剤師という資格を得たおかげで、これまでどこで転職するにも苦労せずにこられました。あの時、北里大学に入っていたからこそ仕事にも恵まれ、今の主人に出会うことができたことに気付いたとき、自然に母校に感謝できるようになりました。

この度、縁あって運営委員に誘っていただきました。微力ですが、感謝しつつお手伝いできたらと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

同窓会栃木県支部運営委員としての抱負

飯野 望（衛生学部衛生技術学科20期）

前回に引き続き二期目を務めることになりました飯野です。なかなか打ち合わせ会議にも出席できず、運営委員の務めを果たせていない状況で大変恐縮しております。

さて、同窓会栃木県支部も毎年、北里大学に所縁のあるご高名な先生をお呼びした講演会を企画したり、最近では栃木県支部同窓会のホームページの立ち上げをする

など活発な活動を展開しております。また講演会に際しては、各社新聞紙面での掲載やパンフレットでの案内など、積極的に栃木県民に働きかけ北里大学を宣伝しております。ひとえに滝支部長を中心とした運営委員の方々のご尽力の御蔭です。私も同窓会栃木県支部を盛り立てていけるよう微力ではありますがお手伝いさせていただきますと思います。

最後になりますが、現在私が担当している関東甲信地区遺伝子染色体セミナーの案内を少しだけさせていただきます。毎年2月に東京大学で開催している同セミナーでは、主に遺伝子検査、染色体検査の基礎から最新の話題を含めた講演を企画し、毎年100名ほどの参加者を得ております。また、毎年6月に遺伝子分析科学認定士の資格試験も同会場で行っていますので、ご興味のある方は遠慮なく飯野までご連絡ください。(連絡先: 栃木県立がんセンター遺伝子検査室 028-658-5151 内線 3805)

運営委員に就任して

千野根 純子

初めまして、衛生学部衛生技術科19回生(1984年卒業)の千野根 純子です。

「お手伝い出来ることがありましたら、いつでもお声掛けください。」の一言から、今年度新たに運営委員に就任することとなりました。

お忙しい運営委員の皆様のお手伝いが出来ればとは思っていたのですが、お役に立てるのかどうか少々不安ではあります。

さてさて、簡単ではありますが自己紹介をさせていただきます。

生まれは、矢板市の南端の片岡です。地元の小中から宇都宮に進出。女ばかりに囲まれ、3年間をのんびり過ごし、相模原キャンパスへ。

都会生活&共学に慣れず、登校拒否になりかけながらも、裏では楽しい4年間を過ごす事が出来ました。(裏では??)

サークルは、演劇部→病院奉仕団をうろうろしていて、どちらのサークルから見ても幽霊部員だったような

...

男女雇用機会均等法(ちょっと懐かしい気はしますが)施工前の女子大生就職難の時代ではありましたが、なんとか栃木県庁に滑り込み、県立病院と衛生行政機関(保健所等)の間を、またもやうろうろしております。

転勤は何度経験しても心細い思いをしますが、異動の先々で北里大学の同窓生に出会う事が多く、いつも心強い気持ちになります。

また、学会等で出会う同窓生の活躍に、毎回背中を押される思いです。

微力ですが、同窓生の皆様同士、同窓生の皆様と大学の橋渡しのお手伝い出来るように頑張りますので、よろしく願いいたします。

北里大学同窓会 栃木県支部 公開講演会

福田容子(副支部長)

定期総会終了後、会場を鶴亀の間に移し、自治医科大学附属病院病院長にこの4月就任された、医学部一回生の安田是和先生の公開講演会が行われました。急遽、公開講演会として開催することが決まり、十分な周知期間もない中での開催でしたが、北里大学同窓会、下野新聞社のご後援を頂き、110名以上の栃木県支部会員、一般県民の聴衆が会場を埋めました。

安田先生の「臓器移植と日本人の心 “小児生体肝移植ドナー手術 200例の経験から”」と題したご講演は、私達が普段、小児の肝移植が上手くいって良かった!、国内では行えない小児の心臓移植が、外国で成功して良かった!と喜んでいる裏側で、実際にメスを握っている外科医として感じているジレンマを披瀝され、講演を聞いている人達に、鋭い問題提起をされました。非常に考えさせられる、有意義な講演会でした。



(安田先生のご紹介)

講演会の後、この3月に北里大学医療衛生学部医療検査学科を卒業し、4月から自治医大病院の病院病理に勤務している福島愛理さんからお礼の花束贈呈が行われ、更に講演会に参加された栃木県支部会員一同と集合写真を撮影し、感慨深い公開講演会が終了しました。

安田先生、有難う御座いました。



(安田先生のご講演)

公開講演会を有難う御座いました。

八木橋アツ子

はじめまして。私、八木橋アツ子です。滝 龍雄先生より、自治医科大学附属病院、病院長、安田是和先生による「臓器移植と日本人の心」と題した講演会聴講後の感想をお願いしたいとの連絡をうけ、私のような者が引き受けてよいものかと、たいへん悩みました。

私は前橋赤十字病院高等看護学院を卒業後、大田原赤十字病院（現那須赤十字病院）勤務。その後昭和 51 年 6 月より自治医科大学附属病院に務めることになり、斉藤龍雄先生（旧姓）とは医学祭見学時に、人なつこく、穏やかで、スポーツ大好き、医学生に対して面倒見がよく、生徒さんからも、たいへん慕われているという印象を受けました。先生の友人が遊びに来るからと声をかけられ、かまぼこハウスでの食事会、テニス、又先生の車で東京にいる友人の所にも同行させてもらいました。順天堂大学附属病院の研究室に顔を出したり、アメリカ留学より帰国し、国立予防研究所に勤めました玉城英彦さんなど、沢山の友人と親しくなり（今考えますと先生の友人は、北里大学を卒業した仲間であったのかなと思います。）

昭和 55 年 12 月に寿退職するまで、楽しく、また、自分を磨くことの大切さ、人と人、心と心のつながり、お互いの立場を理解しながら常に人に対してどうあることが大切なのか！など、沢山のことを学び、今の自分の基礎が先生を通して作られたのではないかと思います。退職後は、年賀状にてお互いの近況報告をしています。

今回の講演会は、下野新聞で知り、申し込みました。内容は「生体移植」がテーマでした。現実には、直接身近に経験する機会はありませんでしたが、ope を“必要な人、”“しなくても良い人、”という二面性のある状態での ope、そこで生じる心の葛藤を持ちながらも、外科医として努力しなければならない現状、先生の優しさゆえの心痛が、私の中にも鋭く突き刺さりました。小児の心臓移植については、私も新聞の記事を見るたびに、レシピエントは、ドナーを待つ（亡くなるのを待つ）状態であり、考えさせられました。私達日本人は、どこまでお互いを思いやり、愛情を分かち合えるのか！を考えながら、日々努力されている姿を拝見させていただきました。私も、あらためて考える機会をいただきました。

先生の最後の言葉で「いい仲間がいるので、こうしていただけるのである。これからも頑張っていきたい。」が心にひびいております。先生はプロフィールの写真よりもずっと素適な方で、講演を通して優しく、深い愛のオーラで会場を満たして下さり、あっという間に講演は終わりました。ありがとうございます。

現在私は、中山医院（中山敏夫先生）にて指導を受けながら勉強する毎日です。滝先生、安田先生、お身体を大切にしながらますますのご活躍をお祈り致します。



（ご講演後、安田先生、東先生を囲んでの集合写真）

北里大学同窓会 栃木県支部 懇親会

岸 善明（副支部長）

安田先生のご講演の後、会場を移して懇親会を開催した。懇親会には安田先生、北里大学同窓会支部担当理事東先生（旧医学部）、医学部同窓会栃木県支部の会員も含めて 42 名の出席者があった。先ず、滝支部長の開会の挨拶の後、東先生が同窓会を代表して、この 6 月より長原新会長の下、新たな活動を開始したなど、同窓会の現状を紹介され、更に同窓会費の納入をお願いされた。宴会は、新島医学部同窓会栃木県支部支部長・同窓会栃木県支部運営委員の乾杯の発声により始まった。





懇親会は和気藹々と進み、宴もたけなわになったところで、安田先生から、自治医大附属病院病院長就任までの色々も含めてのご挨拶がありました。



懇親会は予定していた2時間があっという間に過ぎ、終わり近くになった時、定期総会で、新しく選任された運営委員が壇上に上がり、今後の活動へのご協力をお願いし、会は散開となった。



Relay for life とちぎ 2012 in 宇都宮

～リレー・ウォークのお誘い～

「がんは24時間、眠らない」

「がん患者は24時間、がんと闘っている」

がんと闘うがん患者さんの勇気を称え、がん患者さんや家族、友人、支援者と共に交代で宇都宮城址公園を一晚中歩き、がん制圧のための募金活動を行うチャリティー・イベントが、「リレー・フォー・ライフ」です。

今回、このチャリティー・イベントの中の「リレー・ウォーク」に参加下さるメンバーを北里大学同窓会栃木県支部で大至急募集しております。メンバー各人が希望する時間帯を申告していただき、上手くりレーをつなげられたらと思います。予防医学や疾病の原因究明など広く国民の健康に貢献してきた母校の歴史を考えると、今回のチャリティー・イベントの参加はうってつけではないでしょうか。

がんに関する講演も盛り沢山用意されています。また、がん患者さんへのメッセージも LED ランプに照らされた幻想的雰囲気の中で楽しめると思います。

参加ご希望の方は、8月中旬に「リレー・ウォーク」北里大学同窓会栃木県支部チーム隊長・塚原訓子、又は滝支部長まで連絡をお願いします。

塚原隊長 (e-mail: noriko_tukahara@saimiya.com)

滝支部長 (e-mail: tatabox@kitasato-u.ac.jp)

日時：9月15日(土) 正午～9月16日(日) 正午

会場：宇都宮城址公園

主催：日本対がん協会、リレー・フォー・ライフとちぎ 2012 in 宇都宮実行委員会

当日は飲食店も出店しますが、会場ではアルコール厳禁ですのでリレー・ウォーク後に合流して飲みに行かれてはいかがでしょうか？
文責 飯野

栃木県支部ニュース原稿募集中

支部ニュースは、会員の皆様の交流の場です。皆に知ってほしい、教えたいという情報、こんな活動をしている卒業生が居る、私の自慢、近況等、原稿をお送り下さい。公序良俗に反しないものであれば内容は問いません。

送り先： 329-0434 下野市祇園 2-24-1 滝 龍雄

e-mail: tatabox@kitasato-u.ac.jp

